



AK

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

IN RE APPLICATION OF: Koji SASAKI, et al.

GAU:

SERIAL NO: 10/044,944

EXAMINER:

FILED: January 15, 2002

FOR: WEB-ADDRESS CONVERSION SYSTEM AND WEB-ADDRESS CONVERSION METHOD

REQUEST FOR PRIORITY

ASSISTANT COMMISSIONER FOR PATENTS
WASHINGTON, D.C. 20231

SIR:

- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Application Serial Number [US App No], filed [US App Dt], is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §120.
- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Provisional Application Serial Number , filed , is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119(e).
- ☒ Applicants claim any right to priority from any earlier filed applications to which they may be entitled pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119, as noted below.

In the matter of the above-identified application for patent, notice is hereby given that the applicants claim as priority:

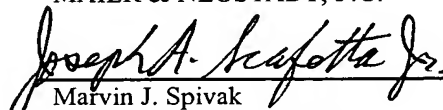
<u>COUNTRY</u>	<u>APPLICATION NUMBER</u>	<u>MONTH/DAY/YEAR</u>
JAPAN	2001-005989	January 15, 2001

Certified copies of the corresponding Convention Application(s)

- ☒ are submitted herewith
- ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee
- ☐ were filed in prior application Serial No. filed
- ☐ were submitted to the International Bureau in PCT Application Number .
Receipt of the certified copies by the International Bureau in a timely manner under PCT Rule 17.1(a) has been acknowledged as evidenced by the attached PCT/IB/304.
- ☐ (A) Application Serial No.(s) were filed in prior application Serial No. filed ; and
(B) Application Serial No.(s)
 - ☐ are submitted herewith
 - ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee

Respectfully Submitted,

OBLON, SPIVAK, McCLELLAND,
MAIER & NEUSTADT, P.C.



Marvin J. Spivak
Registration No. 24,913

Joseph A. Scafetta, Jr.
Registration No. 26,803



22850



BEST AVAILABLE COPY

19/044,944

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application:

2001年 1月15日

出願番号

Application Number:

特願2001-005989

[ST.10/C]:

[JP2001-005989]

出願人

Applicant(s):

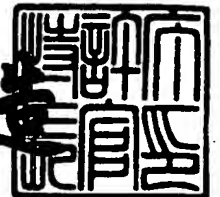
株式会社ジェイデータ

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2002年 1月11日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



【書類名】 特許願

【整理番号】 P34-0007

【提出日】 平成13年 1月15日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/00
G06F 17/30

【発明者】

【住所又は居所】 京都市下京区中堂寺粟田町1番地京都リサーチパーク
株式会社ジェイデータ内

【氏名】 佐々木 耕司

【発明者】

【住所又は居所】 京都市下京区中堂寺粟田町1番地京都リサーチパーク
株式会社ジェイデータ内

【氏名】 佐々木 尚介

【発明者】

【住所又は居所】 京都市下京区中堂寺粟田町1番地京都リサーチパーク
株式会社ジェイデータ内

【氏名】 振角 典成

【発明者】

【住所又は居所】 京都市下京区中堂寺粟田町1番地京都リサーチパーク
株式会社ジェイデータ内

【氏名】 湯川 隆司

【特許出願人】

【識別番号】 399022984

【氏名又は名称】 株式会社ジェイデータ

【代理人】

【識別番号】 100089233

【弁理士】

【氏名又は名称】 吉田 茂明

【選任した代理人】

【識別番号】 100088672

【弁理士】

【氏名又は名称】 吉竹 英俊

【選任した代理人】

【識別番号】 100088845

【弁理士】

【氏名又は名称】 有田 貴弘

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 012852

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0014621

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 アドレス変換システムおよびアドレス変換方法

【特許請求の範囲】

【請求項1】 所定種類のブラウザに対応したアドレス変換処理を行うシステムであって、

ブラウザからのアクセス要求を受けた際、アクセス元のブラウザの種別を特定する特定手段と、

識別番号と前記所定種類のブラウザに対応して作成されたウェブコンテンツのページアドレスとを対応づけた変換テーブルと、

前記ブラウザから前記識別番号を指定したアクセス要求を受けた際、前記特定手段により特定した前記ブラウザの種別をもとに、前記変換テーブルを検索して前記ブラウザによるアクセス可能なページアドレスを取得し、前記ブラウザに対して取得したページアドレスを指定した応答を行う手段と、

を備えることを特徴とするアドレス変換システム。

【請求項2】 所定種類の携帯電話に対応したアドレス変換処理を行うシステムであって、

携帯電話によるウェブアクセス要求を受けた際、アクセス元の携帯電話の種別を特定する特定手段と、

識別番号と前記所定種類の携帯電話に対応して作成されたウェブコンテンツのページアドレスとを対応づけた変換テーブルと、

前記携帯電話から前記識別番号を指定したウェブアクセス要求を受けた際、前記特定手段により特定した前記携帯電話の種別をもとに、前記変換テーブルを検索して前記携帯電話によるウェブアクセス可能なページアドレスを取得し、前記携帯電話に対して取得したページアドレスを指定した応答を行う手段と、

を備えることを特徴とするアドレス変換システム。

【請求項3】 請求項2に記載のアドレス変換システムにおいて、

前記特定手段は、

アクセス元のインターネットアドレスを取得することにより、前記携帯電話の種別を特定する手段、

を含むことを特徴とするアドレス変換システム。

【請求項 4】 請求項 1 に記載のアドレス変換システムにおいて、

異なる種類のブラウザに対応して作成されたウェブコンテンツのうち、略同一内容のウェブコンテンツは、前記変換テーブルにおいて同一の識別番号に対応付けられることを特徴とするアドレス変換システム。

【請求項 5】 所定種類のブラウザに対応したアドレス変換処理を行うシステムであって、

振分サーバと

所定種類のブラウザに対応した複数の変換サーバと、
を備え、

前記振分サーバは、

端末に搭載されたブラウザからのアクセス要求を受けた際、アクセス元のブラウザの種別を特定する特定手段と、

特定したブラウザに対応する変換サーバのページアドレスを指定することにより、前記端末の接続先を当該変換サーバに切り替える手段と、
を備え、

各変換サーバは、

識別番号と変換サーバが対応するブラウザに対応して作成されたウェブコンテンツのページアドレスとを対応づけた変換テーブルと、

前記ブラウザから前記識別番号を指定したアクセス要求を受けた際、前記変換テーブルを検索して前記ブラウザによるアクセス可能なページアドレスを取得し、前記ブラウザに対して取得したページアドレスを指定した応答を行う手段と、
を備えることを特徴とするアドレス変換システム。

【請求項 6】 所定種類のブラウザに対応したアドレス変換処理を行う方法であって、

端末に搭載されたブラウザからのウェブアクセス要求を受ける工程と、

アクセス元の前記端末のネットワークアドレスを取得することにより、前記ブラウザの種別を特定する工程と、

前記ブラウザから識別番号を指定したアクセス要求を受ける工程と、

前記識別番号を、特定されたブラウザの種別に対応して作成されたウェブコンテンツのページアドレスに変換する工程と、

変換したページアドレスを指定した応答を行うことにより、前記端末の接続先を前記ページアドレスに対応したウェブサイトに取り替える工程と、を含むことを特徴とするアドレス変換方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、識別番号を利用したウェブアクセスを支援するシステムの構成に関する。

【0002】

【技術背景】

昨今、携帯電話を利用したウェブアクセスが盛んに行われるようになっている。携帯電話に搭載されたブラウザは、パソコン等に搭載されたブラウザとは仕様が異なる。また、携帯電話の種類によっても、搭載されるブラウザの仕様が異なる。

【0003】

このため、パソコンを利用して表示可能なウェブコンテンツであっても、携帯電話では表示することができない場合がある。また、ある携帯電話会社の携帯電話で表示可能なウェブコンテンツであっても、他の携帯電話会社の携帯電話では表示できない場合がある。

【0004】

このため、携帯電話の利用者を対象にしたウェブコンテンツを提供するためには、パソコンに対応したウェブコンテンツとは別に、携帯電話に搭載されたブラウザに対応したウェブコンテンツを作成する必要がある。

【0005】

そして、携帯電話に搭載された各ブラウザに対応したウェブコンテンツには、それぞれ別のページアドレス（たとえば、URL (Uniform Resource Locator)）が割り付けられる。

【0006】

従って、あるウェブコンテンツをウェブサイトにおいて公開する場合に、複数種類の携帯電話からのアクセスに対応させるには、それぞれの携帯電話に対応したウェブコンテンツを作成するとともに、それぞれのウェブコンテンツに別のページアドレスを割り付けることになる。

【0007】

一般にウェブサイトを特定して目的のページにアクセスするためには、利用者はブラウザにおいてページアドレスを指定する。ブラウザは入力されたページアドレスに対応するウェブコンテンツにアクセスし、取得した情報を表示するのである。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、ブラウザにおいてページアドレスの文字列を入力する操作は煩雑な操作である。特に、携帯電話等の小型の携帯端末にあっては、キー入力を行うボタンが小さい上に狭い間隔で配置されているため、長い文字列を入力する操作は非常に煩雑である。

【0009】

また、自分の所持している携帯電話に対応したページアドレスを入力する必要があるため、参照したいウェブコンテンツのページアドレスを探し出す際には、自分の携帯電話（ブラウザ）で表示可能なサイトであるか否かの判断も必要となる。

【0010】

一方、複数種類の携帯電話に対応したウェブコンテンツを提供するウェブサイトにおいては、同一内容のウェブコンテンツであっても、それぞれの携帯電話に対応したページアドレスを割り付けるため、ページアドレスを周知させることが困難である。

【0011】

たとえば、雑誌等にページアドレスを宣伝する場合であっても、各携帯電話に対応したページアドレスを列記する必要があるが、宣伝効果が十分に得られない。

さらに、パソコンに搭載されるブラウザに対応したウェブコンテンツのページアドレスも表示することになると、明確な表示を行うことができない。

【0012】

そこで、本発明は前記問題点に鑑み、ウェブアクセスを行う利用者の面倒な入力操作を軽減させながら、携帯電話やパソコンなど使用する端末の種別に依存することなく、容易に情報の閲覧を可能とするシステムを提供することを目的とする。

【0013】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するため、請求項1の発明は、所定種類のブラウザに対応したアドレス変換処理を行うシステムであって、ブラウザからのアクセス要求を受けた際、アクセス元のブラウザの種別を特定する特定手段と、識別番号と前記所定種類のブラウザに対応して作成されたウェブコンテンツのページアドレスとを対応づけた変換テーブルと、前記ブラウザから前記識別番号を指定したアクセス要求を受けた際、前記特定手段により特定した前記ブラウザの種別をもとに、前記変換テーブルを検索して前記ブラウザによるアクセス可能なページアドレスを取得し、前記ブラウザに対して取得したページアドレスを指定した応答を行う手段とを備えることを特徴とする。

【0014】

請求項2の発明は、所定種類の携帯電話に対応したアドレス変換処理を行うシステムであって、携帯電話によるウェブアクセス要求を受けた際、アクセス元の携帯電話の種別を特定する特定手段と、識別番号と前記所定種類の携帯電話に対応して作成されたウェブコンテンツのページアドレスとを対応づけた変換テーブルと、前記携帯電話から前記識別番号を指定したウェブアクセス要求を受けた際、前記特定手段により特定した前記携帯電話の種別をもとに、前記変換テーブルを検索して前記携帯電話によるウェブアクセス可能なページアドレスを取得し、前記携帯電話に対して取得したページアドレスを指定した応答を行う手段とを備えることを特徴とする。

【0015】

請求項 3 の発明は、請求項 2 に記載のアドレス変換システムにおいて、前記特定手段は、アクセス元のインターネットアドレスを取得することにより、前記携帯電話の種別を特定する手段を含むことを特徴とする。

【 0 0 1 6 】

請求項 4 の発明は、請求項 1 に記載のアドレス変換システムにおいて、異なる種類のブラウザに対応して作成されたウェブコンテンツのうち、略同一内容のウェブコンテンツは、前記変換テーブルにおいて同一の識別番号に対応付けられることを特徴とする。

【 0 0 1 7 】

請求項 5 の発明は、所定種類のブラウザに対応したアドレス変換処理を行うシステムであって、振分サーバと、所定種類のブラウザに対応した複数の変換サーバとを備え、前記振分サーバは、端末に搭載されたブラウザからのアクセス要求を受けた際、アクセス元のブラウザの種別を特定する特定手段と、特定したブラウザに対応する変換サーバのページアドレスを指定することにより、前記端末の接続先を当該変換サーバに切り替える手段とを備え、各変換サーバは、識別番号と変換サーバが対応するブラウザに対応して作成されたウェブコンテンツのページアドレスとを対応づけた変換テーブルと、前記ブラウザから前記識別番号を指定したアクセス要求を受けた際、前記変換テーブルを検索して前記ブラウザによるアクセス可能なページアドレスを取得し、前記ブラウザに対して取得したページアドレスを指定した応答を行う手段とを備えることを特徴とする。

【 0 0 1 8 】

請求項 6 の発明は、所定種類のブラウザに対応したアドレス変換処理を行う方法であって、端末に搭載されたブラウザからのウェブアクセス要求を受ける工程と、アクセス元の前記端末のネットワークアドレスを取得することにより、前記ブラウザの種別を特定する工程と、前記ブラウザから識別番号を指定したアクセス要求を受ける工程と、前記識別番号を、特定されたブラウザの種別に対応して作成されたウェブコンテンツのページアドレスに変換する工程と、変換したページアドレスを指定した応答を行うことにより、前記端末の接続先を前記ページアドレスに対応したウェブサイトに移り替える工程とを含むことを特徴とする。

【0019】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照しつつ本発明の実施の形態について説明する。

【0020】

<1. システム構成>

図1を用いて本実施形態にかかるアドレス変換システムの全体構成について説明する。アドレス変換システムは、本システムを利用する利用者端末10からの要求に応じてアドレス変換サービスを提供するものであり、利用者端末10は本システムを利用することにより、コンテンツサイト50の備えるウェブコンテンツに容易にアクセス可能となる。

【0021】

アドレス変換システムは、振分サーバ30と、変換サーバ40とから構成されている。また、変換サーバ40は、携帯電話の種別に対応した3つの変換サーバ40a, 40b, 40cが設けられている。

【0022】

ここで、本実施の形態においては、アドレス変換システムは、A社、B社、C社、3社の携帯電話会社に対応したサービスを提供しており、それぞれ変換サーバ40a, 40b, 40cが対応している。

【0023】

また、複数のコンテンツサイト50を図示しているが、コンテンツサイト50a, 50b, 50cは、それぞれA社、B社、C社の携帯電話のブラウザに対応したウェブコンテンツを保有している。

【0024】

つまり、携帯電話各社によって携帯電話に搭載されたブラウザの仕様が異なるため、コンテンツサイト50a, 50b, 50cは、それぞれの携帯電話に対応したウェブコンテンツを保有しているのである。具体的には、各携帯電話に搭載されたブラウザに対応したページ記述言語で作成されたコンテンツを保有していることになる。

【0025】

本実施の形態では、簡単のため、コンテンツサイトごとに保有しているウェブコンテンツの種別が異なる場合を例としている。ただし、1つのコンテンツサイトが複数の携帯電話に対応したウェブコンテンツを保有している場合であっても問題はなく、本実施の形態にかかるアドレス変換システムは、同様の効果を奏する。

【0026】

図2に示すように、利用者端末10は、ウェブアクセス可能なブラウザ11を備えた携帯電話である。

【0027】

コンテンツサイト50aは、WWWサーバアプリケーション51（以下、WW51とする）を備え、記憶装置52内に蓄積しているウェブコンテンツ53をインターネット20に公開している。

【0028】

本実施の形態においては、利用者端末（携帯電話）10は、A社の携帯電話であり、ブラウザ11を利用して、コンテンツサイト50aのウェブコンテンツ53を閲覧可能としている。

【0029】

振分サーバ30は、ブラウザ特定手段31と、振分手段32を備えている。ブラウザ特定手段31は、アクセス元のブラウザの種別を判断する手段である。具体的には、ブラウザ特定手段31は、アクセス元の携帯電話のIPアドレスから、利用者端末10がいずれの携帯電話会社のものであるかを特定するのである。これにより、ブラウザ11の種別が特定される。

【0030】

振分手段32は、アクセス元のブラウザ11の種別に応じて、対応する変換サーバ40のページアドレス（たとえばURL）を指定した応答を行う手段である。つまり、ブラウザ特定手段31により、利用者端末10に搭載されたブラウザ11の種別を特定すると、振分手段32は、ブラウザ11に対して、ブラウザ11に対応した変換サーバ40のページを返すのである。図2で示した例であれば、ブラウザ11には、変換サーバ40aのページアドレスを指定した応答が行わ

れるため、利用者端末10によるウェブアクセスの接続先は、変換サーバ40aに切り替えられる。同様に、B社、C社の携帯電話であれば、それぞれ変換サーバ40b、40cに接続先が切り替えられることになる。

【0031】

変換サーバ40は、利用者端末10のブラウザ11から、後述する識別番号を指定したアクセス要求を受けた際に、識別番号をページアドレスに変換した上で、ブラウザ11に対して対応するページアドレスを指定した応答を行うサービスを提供している。

【0032】

次に、変換サーバ40aの構成について説明する。なお、変換サーバ40b、40cの構成は変換サーバ40aと略同様であり、変換テーブルの登録データや、コンテンツの内容が異なる。

【0033】

図2に示すように、変換サーバ40aは、WWWサーバアプリケーション41（以下、WWW41とする）を備え、記憶装置45内に蓄積しているウェブコンテンツ46をインターネット20に公開している。つまり、変換サーバ40aは、通常のウェブサイトとしての機能を備えている。なお、変換サーバ40aの備えるウェブコンテンツ46は、A社携帯電話のブラウザに対応したページ記述言語で作成されている。同様に、変換サーバ40b、40cの備えるウェブコンテンツ46は、それぞれB社、C社の携帯電話のブラウザに対応したページ記述言語で作成されている。

【0034】

そして、ウェブコンテンツ46は、利用者に対して識別番号の検索サービスを提供する検索ページ461を含んでいる。図3（b）は、携帯電話のモニタに検索ページ461が表示された状態の一例を示している。検索ページ461は、識別番号の入力フォームや検索実行オブジェクトなどを含むコンテンツであり、利用者は当該検索ページ461にアクセスした上で、識別番号を用いた検索操作を行うことが可能である。

【0035】

また、変換サーバ40は、変換手段42と、記憶装置43内に蓄積されたアドレス変換テーブル44aとを備えている。

【0036】

アドレス変換テーブル44aの一例を図4に示す。アドレス変換テーブル44aは、識別番号（コード）441とページアドレス（URL）442とを対応づけたデータベースである。

【0037】

識別番号441は、図に示すように6桁の数字からなるコードである。なお、図中コードの横には便宜上、当該コード（識別番号441）に対応したホームページの説明を記している。本実施形態においては、識別番号441は6桁の数字で構成しているが、文字を含めてもよい。また、桁数も特に限定されるものではないが、入力の煩雑さを解消させるために、桁数はあまり多くしないことが好ましい。

【0038】

変換手段42は、前述した検索ページ461から呼び出され、WWW41のバックヤードで検索処理を実行する手段である。変換手段42は、データベースとの連携機能を備えており、検索ページ461で指定された識別番号441をキー情報として変換テーブル44aを検索し、対応するページアドレス442を取得する。

【0039】

このようにして、変換手段42がページアドレス442を取得すると、変換手段42は、利用者端末10のブラウザ11のリンク先を取得したページアドレス442に設定するのである。これによって、ブラウザ11にはページアドレス442に対応したウェブコンテンツが表示される。たとえば、リンク先が図2に示すウェブサイト50aのウェブコンテンツである場合には、ブラウザ11にウェブコンテンツ53に含まれるコンテンツが表示される。

【0040】

ここで、変換テーブル44aに登録されているページアドレス442は、全てA社携帯電話（ブラウザ）によってアクセス可能なウェブコンテンツに対応した

ページアドレスである。従って、変換手段 4 2 によってリンク先が切り替えられると、利用者端末 1 0 のブラウザ 1 1 には、アクセス可能なウェブコンテンツが正しく表示されるのである。

【 0 0 4 1 】

変換サーバ 4 0 は、以上の処理を実行することによって、利用者に対する識別番号 4 4 1 の検索サービスを提供している。

【 0 0 4 2 】

< 2. 処理フロー >

以上の如く構成されたアドレス変換システムの処理フローについて図 3 を参照しながら説明する。

【 0 0 4 3 】

まず、図 3 (a) に示すように、利用者は、利用者端末 1 0 において、所定のキー操作を行い振分サーバ 3 0 へのアクセスを行う。

【 0 0 4 4 】

ここで、所定のキー操作とは、各携帯電話に応じたインターネットの接続操作および振分サーバ 3 0 のアドレス指定操作である。振分サーバ 3 0 へのアドレス指定は、ページアドレスを直接入力する操作方法のほか、他のサイトからリンクが張られている場合には、一旦当該サイトに接続したうえで、当該サイトからリンクを指定する方法がある。

【 0 0 4 5 】

なお、後述するが、2 回目以降のアクセス時には、「ブックマーク」への登録をしておくことで、振分サーバ 3 0 のアドレス指定操作は不要となる。

【 0 0 4 6 】

振分サーバ 3 0 のアドレス指定操作を行うことにより、利用者端末 1 0 の備えるブラウザ 1 1 は、振分サーバ 3 0 へのアクセスを行う。振分サーバ 3 0 においては、ブラウザ 1 1 からのアクセス要求を受けると、ブラウザ特定手段 3 1 が、アクセス元の利用者端末 1 0 の IP アドレスを取得し、ブラウザの種別を特定する。ここでは、利用者端末 1 0 は A 社の携帯電話であり、ブラウザ 1 1 は A 社携帯電話に搭載されたブラウザであることが特定される。そして、振分手段 3 2 に

より、変換サーバ40aのページアドレスを指定した応答が行われ、ブラウザ11のリンク先が変換サーバ40aに切り替えられる。そして、ブラウザ11には、図3(b)に示すように変換サーバ40aの検索ページ461が表示される。

【0047】

次に、利用者は、検索ページ461において、目的のウェブコンテンツの識別番号を入力する。なお、利用者は、目的のウェブコンテンツの識別番号を、雑誌や広告、インターネットなどで事前に取得することが可能である。この際、取得した識別番号は、たとえば、本実施の形態の如く、6桁の数字などで構成されているので、メモをとる場合であっても、長い文字列のページアドレスとは異なり転記が容易である。また、雑誌や広告を見ながら識別番号を入力する場合でも操作は容易である。図では、識別番号として「102535」を入力している。

【0048】

検索ページ461において、識別番号「102535」が入力され、検索実行指示が行われると、変換サーバ40aにおいては、変換手段42により、ページアドレスの検索処理が行われる。つまり、変換手段42は、取得した識別番号441を検索キーとして、図4で示した変換テーブル44aに対する検索処理を行う。そして、識別番号441に対応したページアドレス442を取得するのである。ここでは、識別番号「10253」に対応したページアドレス「http://www.xxxxxx.xx.jp/aaa」が取得される。

【0049】

そして、変換手段42は、識別番号に対応したページアドレスを取得すると、ブラウザ11のリンク先を当該ページアドレスに切り替えるのである。ここでは、ページアドレス「http://www.xxxxxx.xx.jp/aaa」は、チケットサービスのホームページであり、図3(c)に示すように、利用者端末10のブラウザ11には、チケットサービスのページが表示されるのである。ここで、前述したように、変換テーブル44aに登録されているページアドレス442は、全て利用者端末10がアクセス可能なウェブコンテンツのページアドレスであるので、図3(c)で示したように、ブラウザ11は、確実にウェブコンテンツを表示することが可能である。

【0050】

このように、利用者端末10の利用者は、所持している利用者端末10に搭載されたブラウザの仕様を意識することなく（所持している携帯電話の種別を意識することなく）、目的のウェブコンテンツを参照することが可能である。

【0051】

各ブラウザには、一度訪問したサイトを登録しておく機能（たとえば、「お気に入り」や「ブックマーク」機能）がある。この機能を利用することで、再度、同一のコンテンツサイトに訪問する際には、ページアドレスの入力が省略可能となる。

【0052】

利用者端末10は、振分サーバ30にアクセスした際には、自動的に振分手段32が実行されることによって、変換サーバ40aに接続される（図3（b）の状態）。つまり、利用者が振分サーバ30へのアクセスを実行した後、利用者が「ブックマーク」登録を実行すると、ブックマークには、変換サーバ40aのページアドレスが記録されることになる。従って、2回目以降のアクセス時には、ブックマークからの指定を行うことによって、直接変換サーバ40aに接続される。これにより、2回目以降のアクセス時には、まず、ブックマークからの指定により、変換サーバ40aにアクセスし、続いて識別番号を入力して検索操作を行えばよいので、面倒な文字入力操作を一切不要にすることができる。

【0053】

<3. 識別番号の付与>

図5は、変換サーバ40bの備える変換テーブル44bの一例を示す図である。変換サーバ40bは、B社の携帯電話に搭載されたブラウザに対応した変換サイトであり、変換テーブル44bにおいて識別番号に対応付けられたページアドレスは、B社の携帯電話のブラウザに対応して作成されたウェブコンテンツのページアドレスである。

【0054】

この変換テーブル44bを利用することで、上述した変換サーバ40aと同様に、変換サーバ40bは、B社の携帯電話からのウェブアクセスに対して、アド

レスの変換サービスを提供する。

【0055】

そして、図4で示した変換テーブル44aの識別番号「102535」と、図5で示した変換テーブル44bの識別番号「102535」とは、同一のチケットサービスのウェブコンテンツを示している。

【0056】

つまり、変換テーブル44aの識別番号「102535」に対応付けられたページアドレス「http://www.xxxxxx.xx.jp/aaa」と、図5で示した変換テーブル44bの識別番号「102535」に対応付けられたページアドレス「http://www.xxxxxx.xx.jp/bbb」とは、同一内容（チケットサービス）のウェブコンテンツに対応しており、それぞれ各ブラウザに対応したページ記述言語で作成されたウェブコンテンツである。従って、A社携帯電話からは、「http://www.xxxxxx.xx.jp/aaa」にアクセス可能であるが、「http://www.xxxxxx.xx.jp/bbb」は参照することができない。逆に、B社の携帯電話からは、「http://www.xxxxxx.xx.jp/bbb」にアクセス可能であるが、「http://www.xxxxxx.xx.jp/aaa」にはアクセスすることができない。

【0057】

このように、対応するブラウザは異なるが、同一内容のウェブコンテンツに対しては、同一の識別番号を付与するようにしている。これにより、雑誌や広告等で、識別番号を取得する場合にも、利用者は、識別番号がいずれのブラウザに対応したものであるかという判断を行う必要がない。

【0058】

また、コンテンツの提供側においても、同一のウェブコンテンツに対しては、各社の携帯電話（ブラウザ）に共通した識別番号を用いて管理することが可能である。たとえば、広告媒体に識別番号を記載する場合であっても、代表の番号として識別番号を1つ記載するだけでよい。長い文字列のページアドレスを記載する必要もないし、携帯電話各社に対応した識別番号や、パソコン用の識別番号などを複数記載する必要もないのである。

【0059】

＜4. 変形例＞

図1および図2等で示したように、本実施の形態においては、変換サーバ40a, 40b, 40cは、それぞれ別のサーバ構成としているが、これらを同一のサーバで実現するようにしてもよい。また、振分サーバ30を含めて同一のサーバで実現するようにしてもよい。

【0060】

また、変換サーバ40a, 40b, 40cを同一のサーバ（ハードウェア）で実現するか否かに関わらず、各変換サーバ40a, 40b, 40cが同一の変換テーブルを共有する構成とすることもできる。図4および図5で示した変換テーブル44a, 44bにおいては、識別番号441をキーとしてページアドレス442を検索することとなるが、各変換サーバ40a, 40b, 40cが同一の変換テーブルを共有する場合には、当該変換テーブルにおいて、識別番号441および携帯種別番号（ブラウザ種別番号）をキーとしてページアドレス442を検索するようにすればよい。

【0061】

また、本実施の形態においては、A社、B社、C社、3社の携帯電話会社に対応した変換サーバ40を設けているが、携帯電話会社に限定されず、あらゆる種類の情報端末に搭載されたブラウザに対応した変換サーバを設けることが可能となる。また、パソコンに搭載されたブラウザに対応した変換サーバを設けるようにしてもよい。このようにすることにより、携帯電話、携帯情報端末、パソコンなど、あらゆる端末からのアクセスに対するアドレス変換サービスを提供することが可能である。

【0062】

このように、サーバの構成は、特に限定されるものではなく、負荷分散やメンテナンス面を考慮して適宜変更可能である。

【0063】

また、本実施の形態のアドレス変換システムは、単一のコンテンツサイトに対して適用させることも可能である。つまり、あるコンテンツサイトが独自にアドレス変換システムを構築し、当該コンテンツサイトのトップページに訪れた利用

者端末を、ブラウザの使用に応じて振り分け、それぞれのブラウザに対応した検索サービスを提供することも可能である。

【 0 0 6 4 】

【発明の効果】

以上説明したように、請求項 1 の発明は、アクセス元のブラウザの種別を特定し、指定された識別番号をブラウザがアクセス可能なページアドレスに変換するので、利用者は、ブラウザの種別を意識することなく、識別番号を入力して容易に所望のウェブコンテンツにアクセスすることが可能となる。

【 0 0 6 5 】

請求項 2 の発明は、アクセス元の携帯電話の種別を特定し、指定された識別番号を携帯電話がアクセス可能なページアドレスに変換するので、利用者は、携帯電話の種別を意識することなく、識別番号を入力して容易に所望のウェブコンテンツにアクセスすることが可能となる。

【 0 0 6 6 】

請求項 3 の発明は、アクセス元のインターネットアドレスを取得することにより、携帯電話の種別を特定するので、容易かつ確実にアクセス元を判別することが可能である。

【 0 0 6 7 】

請求項 4 の発明は、異なる種類のブラウザに対応して作成されたウェブコンテンツのうち、略同一内容のウェブコンテンツには同一の識別番号を対応させるようにしたので、複数のブラウザに対応したウェブコンテンツを提供サイトは、代表の識別番号による明確な宣伝効果を得ることが可能である。

【 0 0 6 8 】

請求項 5 の発明は、各ブラウザに対応した変換テーブルを各変換サーバに分散して保有させ、ブラウザからのアクセスを受けた振分サーバが、端末の接続先をブラウザの種別に応じた変換サーバに切り替える構成としたので、負荷分散を可能とするとともに、メンテナンス性にも優れた構成となる。

【 0 0 6 9 】

請求項 6 の発明は、ブラウザに応じたアドレス変換処理を行う方法であり、こ

の方法を実現するシステムを提供することにより、利用者はブラウザの仕様を意識することなく、所望のウェブコンテンツに容易にアクセスすることが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本実施の形態にかかるアドレス変換システムの全体構成図である。

【図 2】

アドレス変換システムのブロック構成図である。

【図 3】

アドレス変換システムを利用した際の、利用者端末における表示状態の推移を示す図である。

【図 4】

携帯電話 A 社の変換サーバが備える変換テーブルの一例を示す図である。

【図 5】

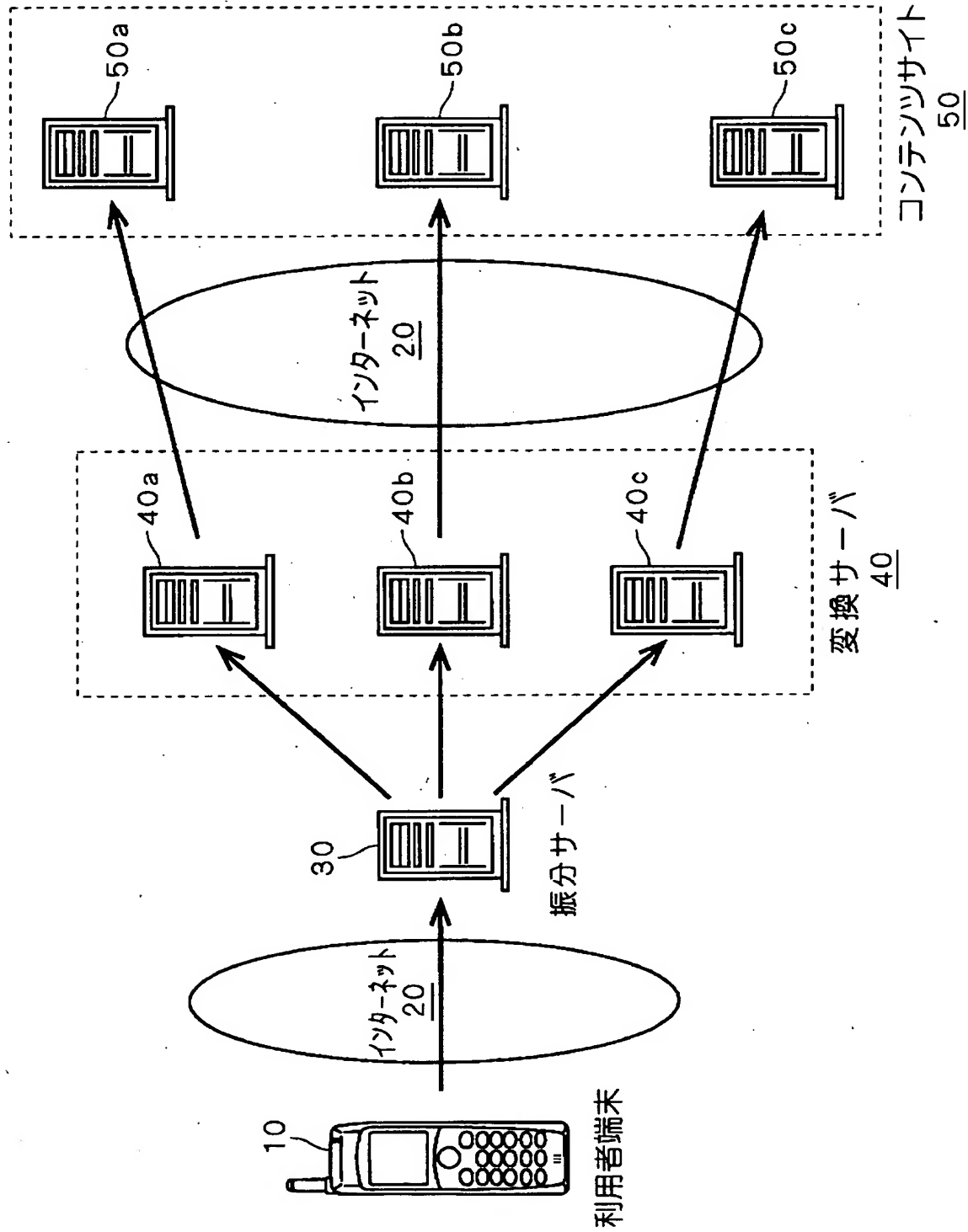
携帯電話 B 社の変換サーバが備える変換テーブルの一例を示す図である。

【符号の説明】

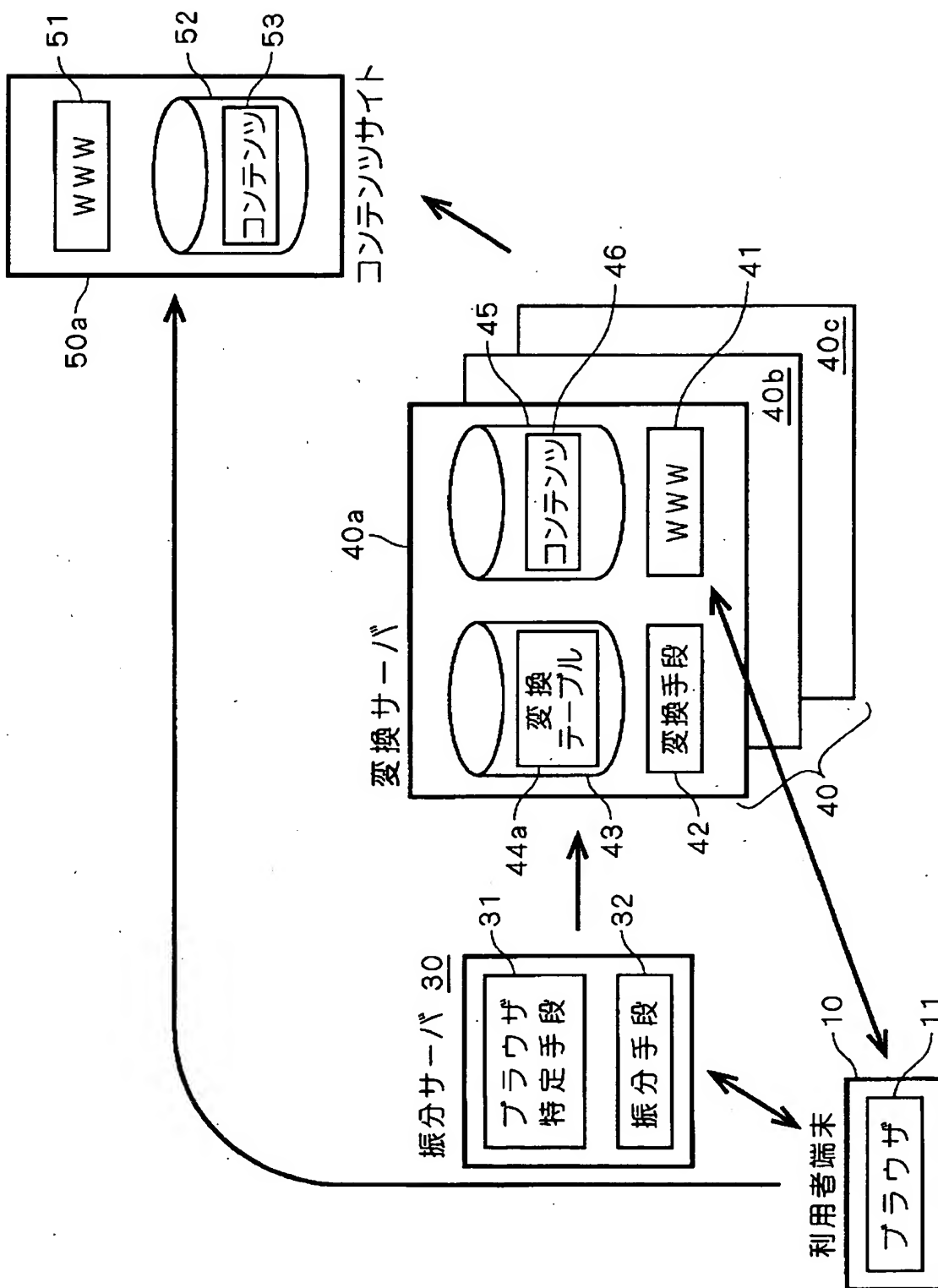
- 10 利用者端末
- 30 振分サーバ
- 31 ブラウザ特定手段
- 32 振分手段
- 40 (40 a, 40 b, 40 c) 変換サーバ
- 44 a, 44 b 変換テーブル
- 46 コンテンツ
- 50 (50 a, 50 b, 50 c) コンテンツサイト
- 441 識別番号
- 442 ページアドレス
- 461 検索ページ

【書類名】 図面

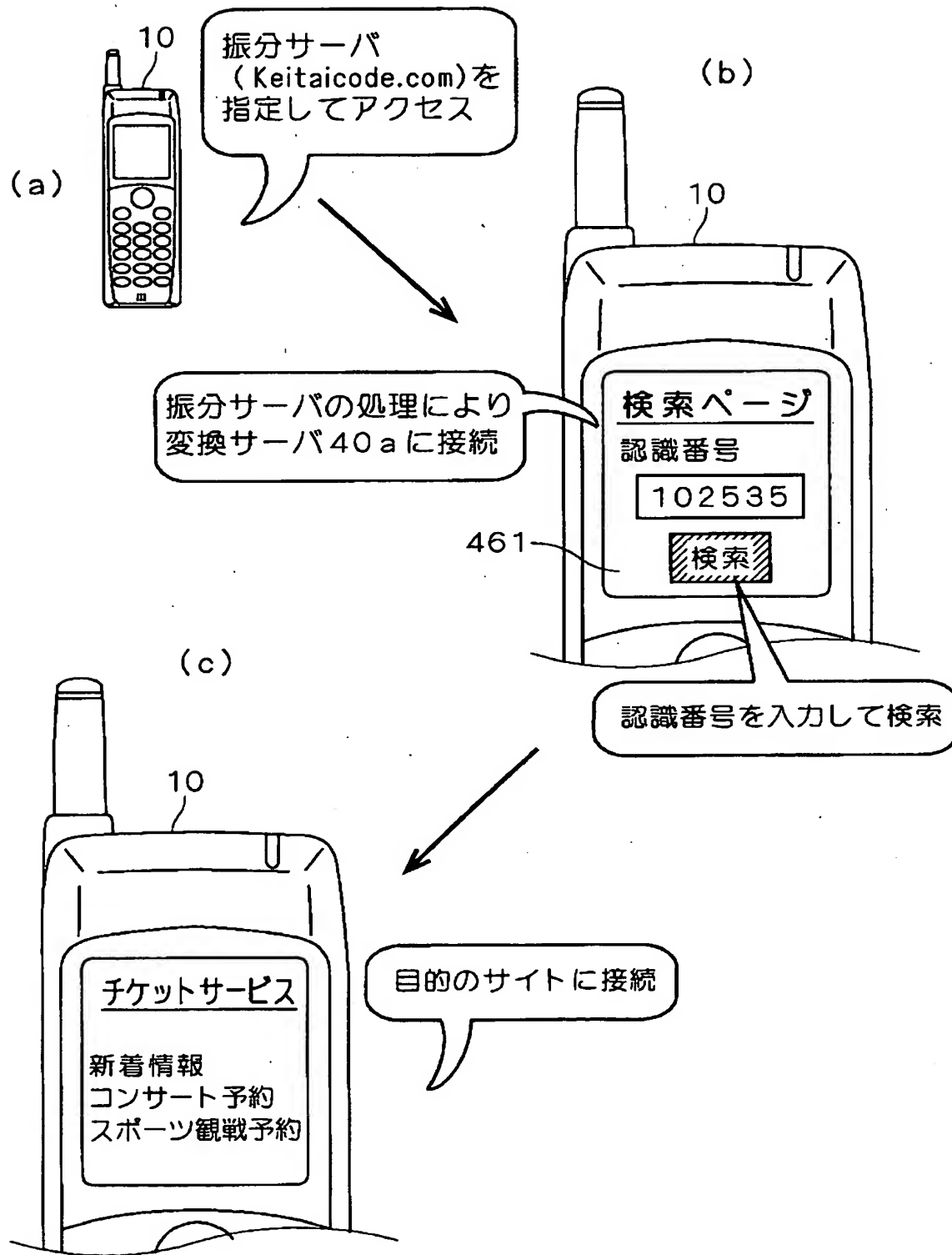
【図 1】



【図 2】



【図3】



【図4】

44a

コード <u>441</u>	ページアドレス(URL) <u>442</u>
102535(チケットサービス)	http://www.xxxxxx.xx.jp/aaa
102536(お天気情報)	http://www.yyyyyy.yy.jp/aaa
102537(X証券ホームトレード)	http://www.zzzzzz.zz.jp/
102538(映画館情報)	http://www.wwwwww.ww.jp/
...	...
...	...

【図5】

44b

コード <u>441</u>	ページアドレス(URL) <u>442</u>
102535(チケットサービス)	http://www.xxxxxx.xx.jp/bbb
102536(お天気情報)	http://www.yyyyyy.yy.jp/bbb
204123(占いページ)	http://www.pppppp.pp.jp/
204124(スポット情報)	http://www.qqqqqq.qq.jp/
...	...
...	...

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ウェブアクセスを行う利用者の面倒な入力操作を軽減させながら、携帯電話やパソコンなど使用する端末の種別に依存することなく、容易に情報の閲覧を可能とするシステムを提供することを課題とする。

【解決手段】 携帯電話 1 0 に搭載されたブラウザ 1 1 からアクセスを受ける振分サーバ 3 0 は、アクセス元のブラウザの種別を特定するブラウザ特定手段 3 1 を備え、振分手段 3 1 によりブラウザ 1 1 の接続先を変換サーバ 4 0 a に切り替える。変換サーバ 4 0 a は、識別番号とブラウザ 1 1 がアクセス可能なウェブコンテンツのページアドレスとを対応付けた変換テーブル 4 4 a を保有し、識別番号を指定した検索要求を受けることにより、対応するページアドレスを指定した応答を行う。これにより、ブラウザ 1 1 には所望のウェブコンテンツが表示される。

【選択図】 図 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [399022984]

1. 変更年月日 1999年 4月 7日

[変更理由] 新規登録

住 所 京都府京都市下京区中堂寺栗田町1番地 京都リサーチパーク
氏 名 株式会社ジェイデータ

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.